

特定非営利活動法人NPOサポートちがさき

平成 27 年度(2015 年度) 事業報告 (平成 27 年 4 月 1 日より平成 28 年 3 月 31 日まで)

1. 茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営とこれに付随する事業

内 容 施設管理及び市民活動推進のための事業、多様な主体による協働の仲介を行った。
日 時 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月・通年
場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従事者人員 19 名
受益対象者 公益活動団体及び関心のある個人
支 出 額 27,500,613 円

2. 社会貢献活動に関する相談、助言事業

(1)余暇支援ネットワーク

内 容 障がい児・者の余暇支援ネットワークの仲介、「キラキラちゃんぶる音楽祭」開催を支援した。
日 時 平成 27 年 4 月～11 月、10 月 17 日(土)
場 所 神奈川県立茅ヶ崎養護学校他
従事者人員 1 名
受益対象者 福祉関係者及び一般市民
支 出 額 10,000 円

(2)まちづくりスポット茅ヶ崎組成支援

内 容 茅ヶ崎南西部地区に誕生したまちづくりの交流スペース「まちスポ茅ヶ崎」の運営を行う特定
非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎の運営支援をおこなった。
日 時 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月・通年
場 所 まちづくりスポット茅ヶ崎、茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従事者人員 4 名
受益対象者 茅ヶ崎市南西部地区住民及び一般市民
支 出 額 2,292,650 円

3. 社会貢献活動を行なう個人および団体相互の交流事業

単独事業としては実施しなかった。

4. 社会貢献活動に携わる人材育成事業

実施しなかった。

5. 情報の収集と提供事業

(1) コミュニティビジネス応援プロジェクト

事例の発掘はできなかった。

(2) 会員向け情報誌「ハーモニー」の発行

内 容 年 3 回発行し、会員やサポーターとセンター職員からの寄稿により親睦を深めることができた。
また自主事業なども紹介して情報共有を図った。

日 時 平成 27 年 9 月、10 月、11 月

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他

従事者人員 3 名

受益対象者 市民活動に関心のある市民

支 出 額 11,123 円

(3) (仮称)元町計画コミュニティ・コンシェルジュ

内 容 茅ヶ崎市元町に建設中のマンション「ジオ茅ヶ崎フレシア」の広告宣伝会社からの依頼により地域のサークルや市民活動団体の情報提供をし、地元の写真愛好家を紹介した。また、マンションギャラリー内の地域活動団体紹介コーナーに掲示する 24 団体を提案し、団体に展示の許諾までの交渉、コーディネートを行った。

日 時 平成 28 年 2 月～3 月

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他

従事者人員 2 名

受益対象者 茅ヶ崎地区周辺で活動する市民活動団体等

支 出 額 0 円

6. 政策提言・協働に関する調査研究事業

(1)新しい公共円卓会議

今年度は、今後の検討期間とするため一時休止することになり、行政側との連携による具体的な活動はなかった。

(2)企業とNPOのマッチング事業

内 容 平成 27 年度市民提案型協働推進事業「企業・NPO・行政の協働に向けた「見える化」事業を実施した。この事業では茅ヶ崎市企画経営課、産業振興課、市民自治推進課と、「さぼちが」が協働して「食」をテーマに活動している企業、NPO などに地域のかかわり方等についてヒアリングを行い、冊子にまとめて「見える化」のツールとした。

日 時 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月、「企業×NPO×大学×行政の交流サロン」3 月 18 日

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター、茅ヶ崎市役所、茅ヶ崎市内企業等

従事者人員 10 名

受益対象者 市内企業、NPO、行政及び企業との協働に関心がある市民

支 出 額 1,055,000 円

7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

実施しなかった。

なお、事業 1 の詳細は別紙 1、事業 2～6 までの詳細は、別紙 2 に記載する。

【別紙1】

1. 茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営とこれに付随する事業

総括

今年度は「相談機能の充実」を重点テーマとし、協働事業や各種助成制度に関する「相談」に丁寧に対応し、活動段階に合わせた支援、企業や大学との連携も推進することができた。また、サポセン☆ワイワイまつりでは、「情報収集・発信と協働の拠点」として市民の思いや願い、知恵が結集し、市民活動の楽しさ・おもしろさを伝えあう場となった。

1. 施設の運営に関する業務

(1)ロッカー利用の承認、取消し等に関する業務

事務所を持たない NPO に対して、機材などの備品や書類保管のためにロッカーを貸出。

60 団体(大:12 団体、小:48 団体) 市民活動団体の利用が増え 100%となった。

また団体の要望に応え、3 月に大型ロッカーを 6 個増設した。(平成 28 年 4 月 1 日より使用開始)

(2)視察対応に関する業務

他市からの行政・議会等の視察に対する施設内外の案内及び説明。

11 月 30 日(月)	センター運営・事業についての情報交換	ふじのくに西部 NPO 活動センター	2 名
--------------	--------------------	--------------------	-----

(3)ロッカー、レターケース利用団体宛のファックス及び郵便物の取り次ぎに関する業務

市民から市民活動団体、市民活動団体同士の物資・情報の仲介をした。192 件。

・常総市救援物資の仲介(9 月) Team Aid for Japan(TAJ)～しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア

・エコミュージアムに関するアンケート 市民活動団体への調査資料配布の仲介(11 月)

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府建築計画研究室

・復興支援物資の仲介(12 月 12 日～12 月 20 日)

Team Aid for Japan(TAJ)～しょうなん茅ヶ崎災害ボランティアによる「南三陸にお餅を届けようプロジェクト」

(4)防災設備チェックおよび職員の災害・緊急時対応訓練

利用者の安全を守るために、防災マニュアルを再点検。

防災倉庫内の防災用備蓄品の在庫状況を確認し、倉庫内備蓄品リストを作成した。

9 月 1 日(月)	かながわシェイクアウト(利用者・職員対象) いっせい防災行動訓練	神奈川県シェイクアウト訓練音声ガイダンスを利用	23 名
9 月 16 日(水)	避難訓練(職員対象)	職員役と利用者役に分かれ、地震・火事を想定した訓練	12 名

2. 市民活動の支援及び市民活動推進のための効果的な事業等の企画に関する業務

(1)市民活動に関する情報収集及び提供に関する業務

ア. 市民活動に関する図書の選定、購入及び管理

- ・市民からの寄贈で環境、まちづくり関連の本が増えた。
- ・利用者が読みたい本を分野ごとに絞り込み、貸出の利便性を向上。
- ・定期購読(神奈川新聞・ウォロ・ビッグイシュー)

イ. 市民活動団体、関係機関が発行する機関紙等、市民活動に関する関係資料等の収集及び管理

- ・市民活動団体の「団体運営・講座」「会員・ボランティア募集」「ガイドブック登録団体の機関紙・イベント(分野別)」および「前述以外の機関紙・イベント(分野別)」を掲示。登録団体のチラシや会報を目立つ場に掲示することで、団体の広報支援をより強めた。
- ・「助成金」「市民公募やパブリックコメント」「他地区公共施設のチラシなど」の情報を収集し提供。

ウ. サポートセンター情報紙の発行(年3回以上)およびホームページへの掲載

- ・「さぼせんニューズレター」を年4回、各号2,000部を発行。
- ・市内公共施設ならびに館内配架の他、市民活動団体データベース登録団体、近隣自治体のボランティア支援施設、市内協力団体・個人・企業へ配布。サポセンの取組みを紹介する資料として活用した。

	発行	内容
vol.45	5/25	サポセンまるごと大紹介号～施設案内、事業の実施スケジュール、市民活動応援プログラム
vol.46	9/30	上期事業ふりかえり(NPO講座、カフェ)、助成金活用ポイント、意見交換会、げんき基金など
vol.47	1/25	下期事業ふりかえり(NPO講座、ボランティア塾、よるカフェ)、NPOの組織など
vol.48	3/28	ワイワイまつり特集

エ. 市民活動団体データベースの作成・管理およびそれを基としたガイドブックの編集・発行、

ホームページへの情報掲載

- ・データベース登録団体へ掲載内容および個人情報公開の可否を確認し、情報を更新した冊子を8月に発行。登録団体へ郵送、市内公共施設等へ掲示・配架。最新データベース情報をホームページ Web 版にアップロード。
- ・茅ヶ崎市内の民間レンタルスペースの紹介ミニ冊子を作成し、団体に送付した。
- ・団体情報に変更になった場合は随時受付け、即時にデータベースを修正しホームページ Web 版を更新。また新規で申込があった場合も随時受付け、データベース作成、ホームページ Web 版にアップロード。
- ・登録団体数は、冊子発行時点で341団体。3月末時点で361団体となった。
- ・広報ちがさき「市民の活動だより」へデータベース登録団体より毎月紹介し通算11団体を掲載。また5月よりレディオ湘南「はまかぜちがさき」内で、活動PRする市民活動団体を通算10団体紹介。

オ. 情報コーナーの管理(各団体のチラシ、ポスター等の掲示物の受付管理等)

- ・チラシの掲示用ラックを増設したことによりスペースが広くなり、利用者が手に取りやすいレイアウトになった。
- ・分野別に館内掲示。市民活動団体メモリーファイル(222団体)では、タウンニュース、神奈川新聞、広報ちがさき等の切り抜き記事も含め、活動履歴を紹介。
- ・月次、WEB版市民活動団体イベント一覧とカレンダー表示を随時更新。
- ・データベース登録団体にニューズレターやイベント案内などを郵送・メールにて、年間情報提供80件。

市民活動団体より受け付けたチラシ・ポスターの内訳

イベント・講座 セミナー	広報紙 機関紙	会員・ ボランティア募集	補助金 助成金	地域紙	その他	合計
1091	603	101	39	266	85	2185 (前年比 93%)

カ. サポートセンターホームページの維持管理

- ・ホームページデータ全体見直しをすることで容量のスリム化ができた。
- ・ガイドブック WEB 版の更新、修正追加、新規登録を行い対応した。
- ・blogn を使用し、団体からのイベント 590 件、センターの事業告知・報告 29 件、助成金等 72 件の情報を提供。
- ・センターの貸し出し備品はトップページからリンクできるようにし、同じページから申込み可能になった。
- ・年間アクセス数:146,523 件(前年比 96%)
- ・スタッフが Twitter でセンターの最新情報を告知した。2016 年 4 月 30 日現在、フォロワー数 234 名(団体)

(2) 市民活動に関する相談並びに連絡調整に関する業務

ア. 相談(149 件)

毎月 1 回(第 2 月曜日)、事務局長による特別相談日を設けて対応した。

- ・協働推進事業やげんき基金補助事業に関する相談は、特に初めて申請する団体に対して、事業の組み立て方や収支予算、申請書の書き方、プレゼンで話す内容など、ひとつひとつ丁寧に何度も対応した。資金面のアドバイスとして、げんき基金以外の助成金・クラウドファンディングなどの紹介も行った。
- ・今年度は特に、法人として市民提案型協働推進事業「企業・NPO・行政の協働に向けた『見える化』事業」を実施。様々な主体とのつながりが出来たことを活かして、市民活動団体と企業や大学との連携促進をはかった。
- ・内容的に目立ったのは、子どもの貧困・学習支援、シニアの居場所、傾聴、認知症予防、空き家の活用、不用品の再利用、子育て中の母親支援、セカンドライフの生きがいづくりなど。

相談の内容

施設の 利用	サポセン 主催事業	協働 事業	各種 助成制度	団体の 運営	NPO 法人	ボラン ティア	企業の 社会貢献	その他
1	1	15	16	44	5	28	9	28

相談者の内訳

個人	市民活動団体 (自治会含む)	NPO 法人	福祉施設	学校	企業	行政
30	66	9	8	9	11	8

(3) 市民活動推進のための事業の実施及び市民活動団体、市民、事業者、行政との連携推進に関する業務

ア. 市民活動推進のための講演会、講座等の実施(年 3 回以上)

1) NPO 講座の実施

今年度は、まちメディアとの交流、新たな試みとしてソーシャルビジネス、プレゼン基礎、会計相談、とバラエティに富んだ講座を開催し、既存の市民活動団体のみならず、一般市民へのアプローチも図った。

開催日	概要	参加人数
9 月 5 日(土)	市民活動団体のためのまちメディア活用大作戦!!2015 昨年に引き続き市民活動団体とまちメディアがつながる交流会を開催。 活動を効果的に PR するため、6 社とネットワークを築き、担当者の心を動かす表現・書き方など、掲載ポイントやコツを学んだ。 ゲスト:神奈川新聞社、(株)タウンニュース社、(株)湘南リビング新聞社、藤沢 FM 放送(株)、(株)ジュピターテレコム、(特非)湘南スタイル	23 名

10月17日(土) 10月24日(土)	<p>ビジネスパーソンのためのソーシャルビジネス入門 全2回</p> <p>ソーシャルビジネスの基本について2回に分けて講座を開催。1回目は理論編として大学の先生による講義。2回目は実践編として地元での実践者から話を聞いた。一般市民の参加者も多くみられ、ソーシャルビジネスに対する市民の関心の高さを感じさせた。</p> <p>第1回講師 山岡義卓さん(神奈川大学経営学部准教授)</p> <p>第2回講師 藁品孝久さん(NPO法人湘南スタイル理事長)</p>	<p>第1回 29名</p> <p>第2回 34名</p>
2月6日(土)	<p>思いが伝わる！プレゼンテーション基礎講座</p> <p>人に伝えるとはどういうことかを、技術としてではなく根本に立ちかえて考えていく講座。講師の声が“伝わった”と実感した参加者が多く、満足度の高い講座となった。</p> <p>講師:吉田知津子さん(認定NPO法人ハンズオン！埼玉 副代表理事)</p>	28名
3月19日(土)	<p>NPO 法人会計個別無料相談会</p> <p>NPO の会計に関する相談会。会計処理、決算、活動計算書・報告書の作成などNPO 独特の処理方法について個別の課題に応じ、懇切丁寧に指導。</p> <p>相談員:本郷順子さん・福永裕子さん(一般社団法人公益アシストかながわ)</p>	6団体

2) 茅ヶ崎維新カフェの実施

茅ヶ崎維新カフェとは、情熱と決意を持った人、誰も通らなかつた道を自分たちの力で切り拓こうとする行動力・発想力を持った人に会ってお話をする交流会。

開催日	概要	参加人数
6月27日(土) 13:30~15:30	<p>第8回茅ヶ崎維新カフェ「前に進む人生の選択～義肢提供で、ルワンダの人々の自立を支援～」</p> <p>ゲスト:ルダシングワ真美さん・ガテラさんご夫妻 (ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト)</p> <p>19年間の団体活動の軌跡、現在のルワンダの状況、二人の夢についての講演と質疑応答。</p>	34名

3) よるカフェの実施

よるカフェとは、夜、寄る、縁る、・・・人が出会い、つながり、生まれ、始めるきっかけとなる交流の場。

夜間の利用促進と、これから何か始めたい人たちが出会い、交流し、活動のきっかけづくりとしてもらうことを目的に、4回、サポートセンターにて開催した。今年度は、いつもと一味違う、よるカフェ団体企画を募集したところ、3団体から応募があり、団体企画ならではの、貴重な体験と交流ができた。

開催日	概要	参加人数
8月18日(火) 15:00~17:00	<p>第9回<昼でも>よるカフェ「介護犬と聴導犬」</p> <p>ゲスト:泉友美子さん(特定非営利活動法人ウェルフェアポート湘南)</p> <p>介助犬と聴導犬の実演を通して、身体障害を持つ人たちの、社会参加と自立を支援することに対し、私たちにできることを考える交流会。</p>	29名

11月21日(土) 18:00～20:00	第10回 よるカフェ「ラジオドラマを体験しよう～コメディに挑戦！」 企画・講師:清水友美さん(湘南 SHOW 点) グループでコメディの台本を朗読し、それを基に効果音も入れて録音編集。しかもその録音が実際のラジオで放送されるというラジオドラマ体験交流会。	27名
11月27日(金) 10:30～13:00	第11回 <昼でも>よるカフェ「防災☆ママカフェ@湘南茅ヶ崎」 企画:防災スイッチオン!プロジェクト ゲスト:かもんまゆさん(スマートサバイバープロジェクト特別講師) 佐藤敏郎さん(スマートサバイバープロジェクト特別講師) 子どもの命を守るママのための防災ワークショップ、親子でチャレンジする防災食試作と試食体験交流会。	20家族 (24名+ 子ども 19名)
11月28日(土) 18:30～20:30	第12回 よるカフェ「懐かしのフォークを唄おう！」 企画・講師:矢嶋望さん(学びの市民講師) ギターを手に、昔懐かしいフォークや歌謡曲、童謡を織り交ぜ、みんなで唄う交流会。	9名

イ. 市民活動フォーラム(市民活動のPR及び団体交流のためのイベント)の実施(年1回以上)

ちがさきサポセン☆ワイワイまつり2016の企画・実施

茅ヶ崎をより良いまちにしよう活動する人たち同士が、「市民活動の楽しさ・おもしろさを多くの市民に伝え」「互いの活動を知り、交流を深め」「力を合わせたまちづくりに取り組むきっかけにする」ことを目的に開催。

市民活動団体を中心に、企業・大学・行政など様々な団体が連携・協力し、中央公園とサポセンの2会場で様々な出会いと交流が生まれた。今年度はまつりまでの1週間をまつりウィークとし、サポセン会場館内壁面や屋外壁面を飾りつけおまつりムードを盛り上げた。

運営の中心はスタッフとのべ45名のボランティアであったが、団体にも主体的に参加してもらおうよう、団体の企画に必要な備品(テント・土嚢・机・椅子等)は、昨年同様個々に自己持ち込みとした(レンタル備品の仲介も行った)。ステージの設営に関しては、例年、設営解体作業のための前日当日スタッフ・ボランティア招集に苦慮していたが、今回ステージカーをレンタルすることで負担が軽減された上にステージ環境が向上し、団体からも好評を得た。

参加団体からは「たくさんの人と知り合うきっかけになった」「他団体と互いに協力したり、情報交換ができてよかった」「団結力を感じた」との嬉しいふりかえりの感想とともに、「会場のゴミ削減への努力が必要」と今後開催への提言も寄せられ、次年度開催への期待が窺えた。

開催日	概要	参加人数
2月27日(土) 10:00～15:30	参加するたび 私のまちが 好きになる- テーマは「ぐるぐるめぐる」 内容:模擬店、物品販売、体験、ステージ、スタンプラリー、復興支援、防災イベント「イザ!カエルキャラバン!」、さぼちゃんポスト寄贈式ほか メイン会場:中央公園 Coi Coiサポセン for きつず (主に子ども向け体験など) サブ会場:ちがさき市民活動サポートセンター	来場者 約6,000名 参加・協力 76団体 (初参加 15団体)

ウ. 市民活動ネットワーク会議に関すること

研修等を通じて近隣支援センター等との連携や情報交換も日常的な支援に役立てることができた。

開催日	概要	参加人数
4月21日(火)	ボランティアだらけの大交流祭@文教大学	3名
4月25日(土)	とことんオーガニックシンポジウム 2015@永田町星陸会館	1名
4月27日(月)	神奈川県 NPO 支援機関セミナー事前説明会@関内	1名
4月30日(木)	平成 27年度大和市市民活動推進補助金事業報告会	1名
5月20日(水)、6月3日(水)、17日(水)	ボランティア団体成長支援事業 神奈川県 NPO 支援機関セミナー&ワークショップ@mass×mass 関内フューチャーセンター	1名
7月10日(金)	認定申請入門セミナー～申請に向けた段取りと準備、NPO 法人の消費税@東京ボランティアセンター	2名
7月23日(木)	NPO と行政の対話フォーラム 2015@かながわ県民センター	1名
7月24日(金)	認定 NPO 法人イーパーツ活動報告会 2015&マイナンバー講演会	2名
8月29日(土)	防災パーク 2015 見学・体験情報収集@NHK 放送センター	1名
8月6日(木)～9月3日(木)全4回	かながわコミュニティカレッジ 魅力を引き出し切るためのプレゼンテーション術講座@かながわ県民センター	1名
9月4日(金)～25日(金)全4回	かながわコミュニティカレッジ NPO の活動資金づくり講座(かながわファンドレイジング講座)@かながわ県民センター	1名
9月6日(日)	組織マネジメント講座@ひらつか市民活動センター	2名
9月26日(土)、10月11日(日)、11月14日(土)	平成 27 年度ボランティア団体成長支援事業 中長期計画策定支援プログラム NPO 法人湘南スタイル支援@mass×mass 関内フューチャーセンター	1名
10月1日(木)	かながわコミュニティカレッジ Power Point マスター×マスター講座@かながわ県民活動サポートセンター	1名
10月1日(木)～11月19日(土)全8回	かながわコミュニティカレッジ 発達障害児地域支援コーディネーター養成講座@かながわ県民センター	1名
11月6日(金)～27日(金)全4回	横浜市立大学エクステンション講座「市民活動のコーディネートを学ぼう」@横浜市市民活動支援センター	1名
11月13日(金)～27日(金)全3回	非営利活動組織のためのマイナンバー制度導入連続講座@藤沢市市民活動推進センター	のべ3名
12月3日(木)～2月4日(木)全8回	かながわコミュニティカレッジ 市民活動スタートアップ講座@かながわ県民センターほか	のべ3名
12月9日(水)	豊かな長寿社会シンポジウム@市役所分庁舎コミュニティホール	3名
12月12日(土)	パワーアップセミナー「仲間づくりのコツ」@川崎市民活動センター	1名
12月17日(木)	ボランティア活動支援施設 CEO ミーティング@かながわ県民センター	1名
12月21日(月)	団体スキルアップゼミ「広報力アップ」@都筑区民活動センター	2名
1月8日(金)～22日(金)全3回	かながわコミュニティカレッジ 傾聴ボランティア養成講座@茅ヶ崎市市民文化会館	1名
1月23日(土)	パワーアップセミナー「魅せるチラシとは？惹きつけるキャッチコピーとは？」@川崎市総合福祉センターエポックなかはら	1名
2月13日(土)	平成 27 年度ボランティア団体成長支援事業 中長期計画策定支援プロ	2名

	グラム 成果発表会@mass×mass 関内フューチャーセンター	
3月3日(木)	平成27年度大和市民活動推進補助金説明会	1名
3月5日(土)	海岸美化団体等交流会@藤沢土木事務所汐見台庁舎	1名
3月12日(土)	平成27年度大和市民活動推進補助金公開プレゼン	1名
3月30日(水)	茅ヶ崎市内12地区地域方殻支援センター福祉相談室との意見交換会	2名

エ. 市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会の実施

市民活動団体等と市職員が対等な立場で茅ヶ崎の様々な課題を共有し、それぞれの立場でできること・アイデアを持ち寄って、協働推進事業実施への可能性や、協力し合うことができる接点を探る話し合いの場。

テーマごとにNPO法人NPOサポートちがさきスタッフと市民自治推進課職員がコーディネーターを務めた。

【参加】市民活動団体等:17団体 行政:延べ40市担当課 ★成案化:4件

	テーマ	市民活動団体等	行政
9月11日(金)	未就学児を持つ親の新しい働き方の提案と、実現のための支援★	うみのあお そらのあお	男女共同参画課、雇用労働課
	消火器・感知器の備えがない家庭への対策	茅ヶ崎ハーブを植える会	防災対策課、予防課
	南西部エリアの多世代交流・経済活性化について	(特非)まちづくりスポット 茅ヶ崎	文化生涯学習課、海岸青少年会館、産業振興課、公園緑地課、農業水産課
9月12日(土)	ダウン症への保健師主体のサポート体制づくり、tomboyへの紹介	tomboy	こども育成相談課、子育て支援課
9月15日(火)	(高齢(障がい)者を消費者被害から守るためにも)見守りネットワークの構築	消費者問題に取り組むCの会	高齢福祉介護課、保健福祉課
9月16日(水)	市民講座等の託児サービスにおける保育士派遣のニーズについて	(特非)ワーコレたんぼぼひろば	子育て支援課、保育課
9月17日(木)	ごみ収集、処理に関わる車両等の機材のデータ分析と提言	(特非)湘南ふじさわシニアネット	資源循環課、環境事業センター
	美術館と連携した子育て支援★	NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会	文化生涯学習課
	まちづくり・教育の本質の考え/ボーダレス地域社会にする方法★	湘南こども創育プロジェクト	文化生涯学習課、社会教育課、子育て支援課
	自治体内で可能な交流、被災地について支援できること等	ちがけせん	青少年課、男女共同参画課、スポーツ健康課
	行政の考える防災・減災と住人が考える防災・減災の隔たりを失くしより良いかたちでの連帯を生み出すには	広域避難場所を守る会	企画経営課、市民自治推進課

	企業×NPO×行政の協働による、新事業へのアイデアコンテスト	(特非)NPO サポート ちがさき	企画経営課、 市民自治推進課、 産業振興課
9月18日(金)	小中学生向けの理科教育支援	(特非)湘南ふじさわ シニアネット	学校教育指導課
	郊外住宅地が抱える問題と持続可能なあり方について	(公社)日本建築家協会 (JIA)関東甲信越支部 神奈川地域会 郊外居住研究所	都市計画課、 都市政策課、 景観みどり課
	安心して健やかな次世代育てが出来る環境を目指した地域コミュニティづくり★	мам 04	文化生涯学習課、 子育て支援課
	「美育」をテーマに毎年開催している児童作品展(小学1年～6年対象)	MOA 茅ヶ崎健康生活 ネットワーク	学校教育指導課、 文化生涯学習課、 社会教育課
	「地域包括ケアシステム」、「高齢者の社会参加」について	(特非)湘南ふじさわ シニアネット	高齢福祉介護課、 企画経営課

オ. 協働推進事業及び市民活動げんき基金補助事業に関する諸手続きにおける市民活動団体への支援

平成 27 年度事業の実施団体に対しては、事業の進め方や広報活動、報告書作成等に関する相談に随時応じた。平成 28 年度実施事業に関しては、制度の見直しが行われたことから、市民自治推進課と連携して、データベース登録団体に新制度の概要を説明した募集チラシを送付、事業企画や申請手続きに関する相談、プレゼンテーションに向けてのアドバイスなどを丁寧に行った。

開催日	概要	参加団体
12月19日(土)、 21日(月)、 1月14日(木)	平成 28 年度市民活動げんき基金補助事業 伝わる！企画書作成会 企画書・申請書類の書き方を中心に、市民活動げんき基金の仕組み、 公開プレゼンテーションの進め方などを説明。 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	21 団体

また、制度に対する理解を深め、よりの確な支援を行うため、市が主催する下記のイベントに積極的に参加した。

開催日	概要
5月24日(日)	平成 26 年度実施 協働推進事業・市民活動げんき基金助成事業 実施報告会 場所:高砂コミュニティセンター
7月30日(木)、 8月1日(土)	協働推進事業 制度説明会 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎会議室
12月5日(土)	平成 28 年度実施 協働推進事業 公開プレゼンテーション 場所:高砂コミュニティセンター
12月19日(土)	市民活動げんき基金 募集説明会 場所:ちがさき市民活動サポートセンター
3月13日(土)	平成 28 年度実施 市民活動げんき基金補助事業 公開プレゼンテーション/ヒアリング 場所:茅ヶ崎市役所分庁舎 6 階コミュニティホール

カ. 市民活動団体・市民・事業者・行政の連携支援

1) イザ！カエルキャラバン！の後方支援

小さな子どもから参加でき、防災・減災・救助について楽しく学び、家族連れでにぎわう新しい形の防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン！」を実施するためのノウハウを伝授した。開催までに 2 回の事前説明会を開き、阪神淡路大震災の教訓をもとにカエルキャラバンのプログラムが作られた経緯や、当日の役割分担、プログラムの実習を行った。また、カエルグッズの貸与・貸出を行って、防災の「知恵」や「技」を身につけ、地域の防災力のアップにつなげる支援を行うことができた。サポートセンターの事業として定着し、地域の防災訓練だけでなく子ども会や推進協の子どもたちを対象にした防災訓練として実施できた。

開催日	概要	参加人数
9月27日(日)	松林学区子ども会で「イザ！カエルキャラバン！」実施 場所:松林小学校	80名
10月31日(土)	香川推進協子ども大会「なぞとき探検隊～遊んで学んで金メダル 2015～」 に協力 場所:香川小学校	223名

3月のさぼせんワイワイまつりの「イザ！カエルキャラバン！」コーナーでは、カエルキャラバンを開催した推進協等からのボランティア協力を得て、多くの市民に体験型の防災プログラムを提供することができた。また、おもちゃのかえっこを実施したことで大勢の子どもたちの参加があった。

防災対策課や消防本部など行政の協力と、モリタ宮田工業(株)、(株)モンベル茅ヶ崎店など企業からの協力を得て盛大に開催出来た。

2) 行政・大学・関連機関との連携

① 文教大学との定期連絡会

文教大学国際学部ボランティア委員会と情報交換を行い、市民活動団体からのボランティア募集情報や大学生が参加できる活動・イベント情報を提供し、団体と大学生の活動を支援した。(4、6、9、12、1月)

② セカンドライフのプラットフォーム

茅ヶ崎市が平成 27 年 2 月に策定した「豊かな長寿社会にむけたまちづくり基本方針」に基づき、「セカンドライフのプラットフォーム(高齢期における社会参加の仕組みづくり)」を構築するため、4月～6月の5回にわたり、その機能や運営方法についての協議・検討を行うワーキンググループに参加した。

10月1日より、シニアの社会参加を促進する「生涯現役応援窓口」が市庁舎内でスタート。サポセンでも、必要な情報提供を行うために8月に登録団体へ「シニアの市民活動参加に向けたアンケート」を実施。回答のあった99団体のうち、83%から、ぜひシニアを迎えたいとの回答を得た。セカンドライフコンシェルジュ(シルバー人材センター)と連携を取りながら、窓口にて市民活動を紹介してもらうとともに、関心を持つシニアへの相談対応を行った。

③ まち歩き音声ガイド貸出

平成 27 年度協働推進事業「音声ガイドサービスの活用と応用化へのステップアップ事業」に協力。

主催:まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎、富士ゼロックス神奈川(株)、茅ヶ崎市

9月1日～11月30日 まち歩き音声ガイドの貸出仲介を行った。(9月10台、10月9台、11月4台 計23台)

④地域福祉活動交流会・パネル展示

保健福祉課主催のイベントに福祉・子育て分野の19団体のパネル展示を仲介、搬入協力を行った。

⑤その他

・2月15日(月) 第8回茅ヶ崎市市民活動推進委員会(委員10名出席)にて市民活動サポートセンターの取り組みについて説明した。

・3月30日(水)市内12地区福祉相談室福祉相談員12名との意見交換会を行った。

3) 研修受入・主な講師派遣

・主な研修の受入

10月6～10日	NPO活動体験派遣研修(5日間)	神奈川県職員	1名
1月7～12日	NPO派遣研修(5日間)	茅ヶ崎市景観みどり課職員	1名
1月14～19日	NPO派遣研修(5日間)	茅ヶ崎市市民自治推進課職員	1名

・主な講師派遣

4月10日(金)	新採用職員研修(前期)講座	茅ヶ崎市職員	70名
6月17日(金)	ボランティア大学講座 「市民活動分野について」 場所:さがみ農協ビル5階大会議室 共催:茅ヶ崎ボランティア連絡会・茅ヶ崎 市社会福祉協議会	福祉領域のボランティア活動 初心者	70名
9月8日(火)	生涯現役応援窓口開設事前研修	セカンドライフコンシェルジュ	5名
10月7日(水)	新採用職員研修(前期②)講座	茅ヶ崎市職員	17名
11月16日(月)	セカンドライフセミナー「セカンドライフの 活動の場としての市民活動」	セミナー受講生	15名
11月25日(水)	文教大学国際学部国際観光学科 鈴木ゼミの授業サポート	大学生	12名
12月11日(木)	ちがさき健康づくり講座 「市民活動について」	食生活改善推進員養成講座 第17期生	23名
2月17日(水)	セカンドライフセミナー「セカンドライフの 活動の場としての市民活動」	セミナー受講生	30名
3月23日(水)	協働に関する研修会 場所:寒川町消防本部会議室	寒川町職員、町民	70名

・地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム2015

公益財団法人トヨタ財団 2015年度イニシアティブプログラム助成事業

主催:認定NPO法人藤沢市市民活動推進連絡会 公益財団法人トヨタ財団

学生1名(日本大学生物資源科学部3年生)の活動169.5時間分を受け入れた。(9月21日～2月20日)

(4) 市民活動団体の育成に関する業務

ア. 「ユースボランティア茅ヶ崎」の実施

中学生から大学生くらいまでを対象にボランティア活動への理解を深め、新たな参加者を発掘するために(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会と共催。体験先として、高齢者・障がい者・子ども福祉、子育て・保育、環境保全、芸術文化、地域安全、動物愛護、海外支援などにかかわる 21 団体が受入れた。ボランティア体験から社会の一員としての意識とその成長を促し、地域社会の課題と向き合う市民活動の芽を育む活動にもなっている。

開催日	概要	参加人数
7月17日(金)	オリエンテーション 場所:さがみ農協5階 大会議室	80名
7月18日(土)	場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター	
7月19日(日)~25日(土)	個別オリエンテーション 場所:サポセン、社協	19名
7月22日(水)~9月15日(火)	ボランティア体験期間(2日以上)の体験)	99名
8月27日(水)	カフェdeボランティア 場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター	32名

イ. 「地域ボランティアエアポート」

高校生のボランティア活動を支援する拠点として周知され、夏休み以外の受入も仲介。

茅ヶ崎高校ボランティア同好会については継続的にサポート。茅ヶ崎高校定時制には、受入団体を紹介。また、鶴嶺高校生ほか希望者に個別に、東北復興支援の募金活動や子ども食堂など、ボランティア活動の仲介を行った。

開催日	概要	参加人数
6月19日(金)	地域貢献活動・ボランティア活動説明会 場所:総合教育センター善行庁舎 全県立高校の教諭 10 地区 20 施設ボランティアエアポート担当者と情報交換	2名
2月24日(水)	地域ボランティアエアポート連絡会 場所:神奈川県立図書館 各地域ボランティアエアポートにおける高校生への支援の状況について グループディスカッション「地域ボランティアエアポートと高校生を繋ぐには」	2名
月1回	茅ヶ崎高校ボランティア同好会校外活動としてボランティア受入 主にユースボランティアやワイワイまつりの準備 3月には、次年度に予定される手話の授業に先駆け、センターで手話体験の機会を提供(講師として手話通訳ボランティア) また、鶴嶺高校の東北支援 DVD により、被災地支援の学びを提供	4名
随時	高校生と団体・施設とのボランティア仲介	

ウ. 総合的な学習の支援

課題を見つけ自主的に活動を行う人との出会いやふれあいの中で中高生にできるボランティアを知る。活動団体の生の声を聞き、これまで他人事であった社会課題を自分のこととして捉えることができるようになる。生徒がボランティアや進路についてじっくり考える貴重な機会となった。

開催日	概要	参加人数
10月9日(金)	「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」1年生の授業(講師派遣および仲介)。 ①全体学習(同校武道場)。代表による講義の後、1年のボランティア塾から	400名

	<p>発展して被災地ボランティアを行った卒業生(現大学 2 年生)をゲストに迎えた。継続する支援について纏めた PP を示し講演。また、現 3 年生 4 名と共に現地で行ったボイスメッセージ・資料を配布した。</p> <p>②分科会。生徒が希望団体の講義・ワークショップを受講。(同校各教室等)(市民活動団体 14 団体)</p>	
12 月	ニート予防をめざした金銭基礎教育プログラム「マネーコネクション」を市内県立私立高校に情報提供	

エ. かながわイーパーツリユースPC寄贈プログラム

認定 NPO 法人イーパーツ協力のもと、「団体所有の PC で情報収集や情報発信を積極的に行いたい」市民活動団体へ、企業提供のリユース PC を寄贈し、活動を支援するプログラム。藤沢・茅ヶ崎・小田原・大和・座間・平塚・綾瀬・相模原・鎌倉・逗子の NPO 支援センターが連携・協力して 1 回実施した。

神奈川県内の市民活動状況について情報共有を図られるとともに、中間支援組織スタッフの IT スキルアップやつながり促進の機会となっている。

開催日	概要	寄贈団体数
8 月 23 日(日)	第 12 回 寄贈式および寄贈団体向け講習会 県内合計 31 団体に寄贈・参加。場所:藤沢市市民活動推進センター	茅ヶ崎では 1 団体が 申請後辞退

オ. さぼちゃんポスト(切手寄贈プログラム)

家庭に眠っている未使用切手を預かり、市民活動団体へ寄贈する事業が定着し、今年度は 15 名の方々から 46,960 円の切手が寄せられた。また、11 団体へ合わせて 68,000 円分の切手を贈ることができ、2 月 27 日(土)ワイワイまつりで寄贈式を行った。寄贈先団体からは、さぼちゃんポストによって情報発信の充実・通信費の軽減による副次的効果等感謝の言葉が寄せられた。

開催日	概要	寄贈団体数
2 月 3 日(水)	審査会:審査員 4 名、事務局 2 名にて開催 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	
2 月 27 日(土)	寄贈式:68,000 円分を寄贈 場所:中央公園(ワイワイまつり) 茅ヶ崎の社会教育を考える会、茅ヶ崎市聴覚障害者協会、茅ヶ崎良い映画を観る会、まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎、特定非営利活動法人ウェルフェアポート湘南、つなぎの会茅ヶ崎、ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト、NPO 法人湘南ふくしネットワークオンブズマン、NPO 法人ゆい、湘南あゆみの会、NPO 法人 WE21 ジャパンちがさき	11 団体

カ. NPO サポーターズ制度

サポーターズ登録者には、定期的に主催事業等の情報提供を行った。毎週土曜日 13:30~15:30 の IT サポート、花壇作業、ワイワイまつりなどのボランティア活動を担ってもらった。

3. 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務

四半期ごとに指定管理業務実地調査が行われ、おおむね優良であることが確認された。

(1) 花壇整備

花壇ボランティア(NPO サポーターズと会員)による植栽デザイン、適切な施肥と除草により、四季折々の草花が道行く人々の目を楽しませ、サポセンの顔として好評を得ている。春にはアリッサムの苗、夏には建物西側の窓を覆うようにゴーヤのカーテンを育てて利用者と分かち合い、募金を「げんき基金」に寄付した。

また、2016年1月より花壇に市役所駐車場の表示板が設置されたため、植栽の移植管理を行った。

(2) 環境への取り組み

- ・キャンピースイッチによる不要な照明の消灯など節電に努めた。
- ・市民立太陽光発電所(れんこちゃん1号)については、NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワークに定期的に使用電気量の報告を行った。今年度は、自家消費分等にあたる97,660円を同法人に寄付した。
- ・古紙の再利用や使用済みインクカートリッジのリサイクル活動に協力。
- ・主催事業時には、できる限り紙コップや紙皿など使い捨て容器を使用せず、また利用者にゴミの持ち帰り協力を求めるなど、ゴミの発生抑制に努めた。
- ・平成26年度の取り組みに対して、茅ヶ崎市エコ管理賞を受賞した。

(3) C-ブックによる地域資源の活用ならびに社会貢献活動の推進

ガイドブックデータベース登録団体に対して、ちがさき地域通貨 C-リングの循環による社会貢献活動の推進をめざした貸スペース「ハスキーズギャラリー」の使用を仲介。(使用料の半額を充当) 今年度3件貸出

(4) サポセン内のコーヒー紅茶常設スタンド&カフェ

2014年に引き続き、市民活動団体「ネパールの架け橋 ねぼるぼ」が毎週金曜日に“ワンディカフェ・ねぼるぼ”をOPEN。売上からお米700kg(コーヒー紅茶1杯30円分×704杯)と震災支援に35,200円をネパールに寄付することとなった。カフェは3月末で終了。

(5) パソコン何でも相談

NPO法人コネット湘南の「パソコンなんでも相談」は、サポートセンター内で第1火曜日、第3火曜日に開設され、ハード・ソフト両面で合わせて56名の支援が行われた。

(6) 印刷機サポートスタッフの取り組み

2007年度より、障がい者の就労に向けた作業訓練の場を提供する「印刷機サポートスタッフ制度」を導入した。また、2012年度より、就労に向けた支援を充実させるために障がい者キャリアアドバイザーの協力を得て「キャリア支援」を位置づけて、3か月の試行期間が終了後、月に2回障がい者キャリアアドバイザーが目標や達成状況の振り返りを行ってきた。今年度は働きたいという希望を持ち、自分の収入を得て自立したいと考えている男性を受け入れた。一般就労に向けてのスキルの向上、コミュニケーション力のアップを、理事兼務の職員がサポートしながら作業訓練が行われ2016年5月をもって1年間のキャリア支援が終了する。

【別紙2】

企業、大学、行政との連携や協働の可能性や難しさを実感し、各事業の担い手不足、変化に対応する次世代の人材育成が急務であることを痛感した一年であった。

1. 社会貢献活動に関する相談、助言事業

(1) 余暇支援ネットワーク [余暇支援ネットワークPJ]

茅ヶ崎市社会福祉協議会が事務局となり、障がい児・者の余暇支援の情報交換を行った。
余暇支援するネットワーク主催の10月17日(土)「キラキラちゃんふる音楽祭」に協賛した。

(2) 「まちづくりスポット茅ヶ崎」運営支援 [まちスポ茅ヶ崎支援PJ]

茅ヶ崎南西部地区の商業施設を活動拠点とする特定非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎の運営に関して、事務局スタッフへのアドバイス、茅ヶ崎市内NPO関係者への協力依頼、まちスポ茅ヶ崎が実施する事業全般に対するサポートなどを行った。

- 1) 南西部地区の商店など挨拶回り、カフェポー食材関連として石井農園、開工房を紹介、マンション防災ワークショップの情報提供。
- 2) NPO法人セカンドリーグ神奈川の総会にて、まちスポ茅ヶ崎を紹介
- 3) マテバシイを守り育てる会の側面的な支援(保存についての話し合い、樹木医診断料等)

2. 社会貢献活動を行う個人および団体相互の交流事業

単独事業としては実施しなかったが、企業とNPOのマッチング事業の中で交流を図った。

3. 社会貢献活動に携わる人材育成事業

今年度は実施しない。

4. 情報の収集と提供事業

(1) コミュニティビジネス応援プロジェクト [コミュニティビジネスPJ]

今年度は事例の発掘は出来なかった。このPJも4年前に発足して茅ヶ崎らしい事例を紹介してきたが、今年度をもって区切りのひとつとし、今後は「さぼちが」の事業に繋がるような地域資源の情報収集を考えていきたい。

(2) 会員向け情報紙「ハーモニー」の発行 [ハーモニーPJ]

年間3回(8月、10月、12月)、発行した。

会員やサポートセンターの職員からの寄稿により親睦を深めることができた。また、「さぼちが」の自主事業や認定NPO法人取得に向けた経過を報告し、情報共有を図った。

(3) (仮称) 元町計画コミュニティ・コンシェルジュ [(仮称)元町計画PJ]

茅ヶ崎市元町に建設中のマンション「ジオ茅ヶ崎フレシア」の広告宣伝会社からの依頼により、地域のサークルや市民活動団体の情報を提供し、地元の写真愛好家を紹介した。また、マンションギャラリー内の地域活動団体紹介コーナーに掲出する24団体を提案し、団体等に対して展示の許諾までの交渉、コーディネートを行った。

5. 政策提言・協働に関する調査研究事業

(1) 新しい公共円卓会議 [新しい公共 P]

今年度は、今後の検討期間とするため一時休止をすることになり、行政側との連携による具体的な活動はなかった。

(2) 企業とNPOのマッチング [企業とNPOP]

平成27年度市民提案型協働推進事業『企業・NPO・行政の協働に向けた「見える化」事業』を実施した。本事業では、茅ヶ崎市企画経営課・産業振興課・市民自治推進課と、「さぼちが」が、協働して「食」をテーマに活動している企業・NPO等に、地域との関わり方等についてヒアリングを行い、その内容を冊子としてまとめて「見える化」のツールとした。また、その成果は交流サロンを開催することで、関係者で共有することができた。

1) 企業、NPO等へのヒアリング実施(合計25回) 4月～1月

幅広く様々な業種から話を聞くことができた。

2) 「見える化」の成果・冊子発行 2月～3月

ヒアリングした事業者の中から、協働を促すという本事業の目的から内容を選定し、18事例を掲載することができた。まさに協働の成果である。

3) 「企業×NPO×大学×行政の交流サロン」開催

「企業×NPO×大学×行政の交流サロン」

日時：2016年(平成28年)3月18日(金) 15:00～18:00

場所：茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール

テーマ：「食」から未来へ協働のダイナミズム

みつけよう一緒にやりたい人・こと・企業・NPO

内容：「見える化」の報告 NPO法人NPOサポートちがさき 理事 北川哲也

ゲストスピーチ「見える化からカラーバス効果へ」

文教大学 管理栄養学部教授 笠岡誠一氏

テーブルワーク

つながりを深める交流会

事例紹介企業よりそれぞれ特色あるケイタリングや配食の提供を受けた。

後援：茅ヶ崎商工会議所 協力：文教大学健康栄養学部

参加者70名 内訳：企業20名、NPO17名、大学6名、個人2名、行政14名、さぼちが11名

4) Facebook ページにより情報発信した。

総括：成果の具体的なイメージの共有やヒアリング日程調整の難しさはあったものの、協働推進のための顔の見える関係からより踏み込んだ関係づくりのために、テーマを「食」に絞りヒアリングを行った。その成果物を冊子にまとめて、交流サロンで紹介する「見える化」の手法は効果的であった。サロンでの出会いから具体的なマッチングも進みつつある。今後、最小限度の情報をブラッシュアップ

プすることで協働の推進につなげたい。

(3)ラスカ茅ヶ崎 C-Square 活用

2015年6月から改装工事に入り、11月20日(土)、ラスカ茅ヶ崎がリニューアルオープン。地域のコミュニティスペース C-SQUARE も5階に設置され、無料の発信スペースとして5か所の空きスペースが提供された。ちがさき C.C.C. は1年のイベントを通し、ラスカ茅ヶ崎と顔の見える信頼関係が確立できたことでその後のイベント開催にあたっては直接申込み、新規団体の申込みについてはこれまで通り「さぼちが」が仲介することとなった。今後は、ラスカ茅ヶ崎の空きスペースをどんなカタチで有効活用できるか模索の一年としたい。

5月28日(土)	ちがさき C.C.C 主催でラスカ茅ヶ崎 4階 C-Square にて感謝イベント開催。C-Square の広報と CCC チームは物品の販売やプレゼントでPR、魅力のある企画で集客力のある広場となった。
8月21日(金)	神奈川県主催の「企業×NPO×大学 パートナシップミーティング」事業にラスカ茅ヶ崎とNPOサポートちがさがパネリストとして事例発表。テーマ；地域密着型駅ビル、コラボで生まれるイノベーション！」
2016年 1月9日(土)、 10日(日)	ラスカ茅ヶ崎 5階 川上書店横エレベーター前にて文教大学健康栄養学部 笠岡ゼミ主催の、文教大学健康栄養学学生によるドライフルーツのアンケート調査実施。

6. 行政・他機関への委員会委嘱等の協力 [事務局]

以下の委嘱等の協力をおこなった。

大和市市民活動補助金 選考アドバイザー 実績報告会 4月30日、補助金説明会 3月3日、公開プレゼンテーション 3月12日
ホノルル姉妹都市交流委員会 (ラスカ茅ヶ崎でのホノルルウィーク企画の説明) 4月30日
認定・指定 NPO 法人ゆるネット勉強会 5月14日
NPO 法人セカンドリーグ神奈川総会にて、まちづくりスポット茅ヶ崎組成支援の事例紹介 6月3日
茅ヶ崎市まち・ひと・しごと懇話会委員 (年4回)
神奈川県パートナーシップ・ミーティング in 平塚 (ラスカ茅ヶ崎の協働事例紹介) 8月21日
茅ヶ崎市地球温暖化対策推進協議会委員 (年5回)
ホノルル姉妹都市1周年記念レセプション 10月18日
社会福祉法人翔の会理事会 (年3回)
社会福祉法人翔の会評議員会 (年3回)
茅ヶ崎商工会議所賀詞交歓会 1月7日
茅ヶ崎青年会議所新年式典・交流会 1月12日
一般社団法人ソーシャルコーディネーターかながわ アドバイザー (特別相談)
文教大学健康栄養学部笠岡ゼミ研究発表・傍聴 1月20日

Café.Com オープン式典・祝辞挨拶 1月 21日
湘南ふくしネットワークオンブスマン権利擁護を守るシンポジウム・シンポジスト 2月 14日
松林地区防災ワークショップ見学 2月 20日
地域の広域的な意思決定の仕組みの必要性について意見交換会 in 文教大学国際学部 2月 29日
「キャンドルナイト茅ヶ崎 2016」にキャンドルホルダーとして協賛
(財)ソロプチミスト日本財団平成 27 年度「社会ボランティア賞」募集に際し、永田恵子氏を推薦

その他

「湘南・健康長寿スマイルコミュニティ推進会」の発足に向けた意見交換

福祉・介護農園推進会、ふくの会等が、湘南地域の関係者と連携し、行政、大学の協力支援を受け、多世代の参加、協働による「食、食育、文化、農業、健康、介護、子育て、安心安全、環境」のコミュニティ形成を目指す推進会の打ち合わせに出席し、情報を交換した。(年 4 回)

法人運営

1. 通常総会

2015 年度通常総会

日 時: 平成 27 年(2015 年) 5 月 20 日(水) 15:00~17:40

会 場: 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

出席者数: 出席 21 名、委任状提出 9 名、合計 30 名(正会員総数 47 名、過半数が出席)

議 事: 第 1 号議案 平成 27 年度(2015 年度)事業報告の承認

第 2 号議案 平成 27 年度(2015 年度)収支決算の承認

第 3 号議案 平成 28 年度(2016 年度)活動計画の基本方針及び事業計画の審議・決定

第 4 号議案 平成 28 年度(2016 年度)収支予算の審議・決定

第 5 号議案 組織図の変更

全ての議案は原案通り、全会一致で可決承認された。

2. 理事会

5 月 6 日(水) 2014 年度事業報告書、決算書について

5 月 13 日(水) 2015 年度の人財育成及び運営方針について

2014 年度事業報告書、決算書について、2015 年事業計画、予算書について

8 月 12 日(水) 運営会議及び理事会のあり方について、防災管理リーダーの任命について

10 月 14 日(水) 上期決算及び下期予算の組み替えについて、サポートセンター職員体制について、
使途目的寄附金の運用、まちづくりスポット茅ヶ崎の業務委託費の運用について

11 月 4 日(水) 茅ヶ崎市民活動サポートセンター委任事業継続について
非常勤職員の賃金改定について

1 月 13 日(水) 平成 27 年度委任事業における消費税について

まちづくりスポット茅ヶ崎の運営支援における業務分担及び支払規定について

2 月 24 日(水) 第 4 期委任事業の考え方及び具体策協議について

平成 28 年度の事業計画について

3 月 28 日(月) 認定 NPO 法人実態調査における修正事項について

3. 運営会議

2015 年 4 月～2016 年 3 月まで毎月開催。(12 回)

報告事項として、前月度サポートセンター業務、各事業、会計、事務局報告、外部からの依頼事項を協議した。

4. 茅ヶ崎市指定特定非営利活動法人

7 月 14 日(月)指定の申出書を提出。9 月市議会にて審議。

12 月 24 日(木) 茅ヶ崎市指定特定非営利活動法人として指定を受ける。

5. 認定 NPO 法人

11 月 24 日(火) NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会の認定診断を受ける。

11 月 27 日(土) 認定診断結果報告書を受理。

役員の経歴書の備え置き等の指摘事項を基に申請準備を行う。

12 月 07 日(月) 第 1 回事前相談(神奈川県 NPO 協働推進課)

12 月 18 日(金) 第 2 回事前相談(神奈川県 NPO 協働推進課)

12 月 21 日(月) 会計相談(楡井公認会計士事務所)

12 月 25 日(金) 第 3 回事前相談・認定申請書受理(神奈川県 NPO 協働推進課)

2106 年

3 月 8 日(火) 第 1 日目実態確認(法人事務所)

3 月 22 日(火) 第 2 日目実態確認(茅ヶ崎市民活動サポートセンター)

3 月 28 日(月) 実態確認で指摘された事項を修正・報告(神奈川県 NPO 協働推進課)

以上

科目	金額	
I 経常収益		
1.受取会費		
正会員受取会費	129,000	
賛助会員受取会費	32,000	161,000
2.受取寄付金		
受取寄付金	1,092,560	1,092,560
3.事業収益		
茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理 運営とこれに付随する事業	28,054,150	
社会貢献活動に関する相談、助言事業 情報の収集と提供事業	4,001,800	
政策提言・協働に関する調査研究事業	1,055,000	33,110,950
4.その他収益		
受取利息	2,798	
雑収入	500	3,298
経常収益計		34,367,808
II 経常費用		
茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理 運営とこれに付随する事業		
1.事業費		
(1)人件費		
給与手当	14,536,213	
法定福利費	1,081,171	
福利厚生費	113,200	
通勤費	363,880	
人件費計	16,094,464	
(2)その他経費		
企画・事業費	789,059	
消耗品費	556,889	
租税 公課	948,800	
機器 賃借	1,351,980	
機器消耗費	1,098,041	
光熱水費	899,425	
施設整備	860,368	
その他経費	2,734,245	
その他経費計	9,238,807	
事業費計		25,333,271
2.管理費		
(1)人件費		
管理者人件費	1,240,000	
給与手当	653,163	
福利厚生費	23,095	
人件費計	1,916,258	
(2)その他経費		
旅費交通費	20,892	
郵便 運賃	38,106	
租税 公課	95,368	
会計士謝礼	60,000	
その他経費	36,718	
その他経費計	251,084	
管理費計		2,167,342
経費計		27,500,613
社会貢献活動に関する相談、助言事業 情報の収集と提供事業	2,302,650	2,302,650
政策提言・協働に関する調査研究事業	11,123	11,123
その他自主事業	1,055,000	1,055,000
その他自主事業	562,043	562,043
経常費用計		31,431,429
当期正味財産増減額		2,936,379
前期繰越正味財産		3,089,386
次期繰越正味財産		6,025,765

財産目録

2016年3月31日現在

(単位:円)

			備 考
1. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	手許現金	333,792	333,792
			指定管理業務資産 52,422
普通預金	スルガ銀行 2307036 (指定管理)	5,015,328	
々	ゆうちょ銀行 87210181 (自主)	4,049,824	
々	三菱東京UFJ 1640609 (自主)	1,435,441	
々	湘南信用金庫 4145609 (機械保守)	1,545,734	12,046,327
			指定管理業務資産 5,015,328
前払費用	NPO総合保険ほか	0	
			指定管理業務資産 0
立替金	源泉所得税還付金	14,300	
			指定管理業務資産 14,300
未収入金	機械保守	40,670	
流動資産合計		12,435,089	
2. 棚卸資産 詳細は貯蔵品台帳に記載			
貯蔵品			
	商品券 4枚	4,000	
	図書券 22枚	28,000	
	テレホンカード 5枚	3,050	
	QUOカード 2枚	5,500	
	はがき 39枚	1,950	
	郵便切手		
	指定管理分 31種	51,944	
	自主事業分 2種	6,740	
	収入印紙 5枚	1,000	
			指定管理事業分(切手) 51,944
		102,184	
棚卸資産計		102,184	
3. その他資産 (1個 取得価額が2万円以上を掲載)…… 詳細は備品台帳に記載			
	EPSONプロジェクター(オフィリオ) 1台	0	
	富士通ノートパソコン 1台	0	
	テント 1張	0	
	東芝ノートパソコン 1台	0	
	PJスクリーン100型 1幕	0	
	スクリーン(大、小)	0	
	surfaceノートパソコン	0	
	EPSONプロジェクター(液晶) 1台	0	
	リヤカー 1台	0	
	CANONプリンター 1台	0	
	NECノートパソコン 1台	0	
	東芝ノートパソコン 1台	0	
	生興 6人用ロッカー 1台	0	
	(中小企業等が少額減価償却資産(30万未満)は取得価額を損金算入できる)		
その他資産合計		0	
資産の部合計		12,537,273	(A)
2. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	源泉所得税、厚生年金・健康保険料3名分	126,038	379,958
	まちスポアドバイザー源泉所得税	253,920	
			指定管理 126,038
			自主事業
未払金	(1)3月分職員人件費、有給休暇、期末手当他分	1,846,896	3,238,203
	(2)管理・会計人件費、交通費、社会保険他	404,652	"
	(3)花壇整備費、HP維持管理費、	110,000	"
	(4)施設管理/運用費(清掃・警備料、消耗品	312,444	"
	(5)交流研修費	254,000	"
	(6)電話通信費、インターネット使用料	15,711	"
	(7)企画運営費	139,500	"
	(8)備品(レジスター)購入費	155,000	"
事業費	(1)まちスポ茅ヶ崎運営支援	138,800	886,893
	(2)企業とNPOのマッチング交流事業	740,453	"
		7,640	"
	印刷費		
	3月分人件費(4月13日支給)	43,500	248,499
	用紙購入代(リコー)	36,504	"
	印刷インク購入代(デュプロ)	33,048	"
	印刷マスター購入代(デュプロ)	24,624	"
	コピー保守消耗品3月分(リコー)	13,191	"
	PCプリンタートナー代	97,632	"
未払税金	法人県民・市民税(均等割り分)	70,000	370,000
	消費税	300,000	
修繕引当金			200,000
準備・積立金	事業準備・人材育成		1,146,915
積立金	印刷機オーバーホール代		41,040
			(B)
負債の部合計		6,511,508	指定管理 52,838 自主事業 4,528,766 機械保守 1,444,161
3. 正味財産		(A-B) 6,025,765	